

ノーベル賞作家

オルガ・トカルチュクをめぐる講演会

# オルガ・トカルチュクの 文学世界

2018年ノーベル文学賞を受賞した  
ポーランドの作家オルガ・トカルチュクとその文学世界、  
魅力や受賞の背景について、日本語訳者である小椋彩さんをお招きし、  
翻訳が出ていない作品も含めてたっぷりとお話させていただきます。




2019年 **11月27日** 水

時間 16:40~18:10 (開場:16:30)

場所 733教室

対象 どなたでもご自由にご参加ください

共催 名古屋外国語大学世界教養学科  
ワールドリベラルアーツセンター 

司会 加藤 有子 (名古屋外国語大学)

**入場無料 予約不要**

## 小椋彩 (おぐら ひかる)

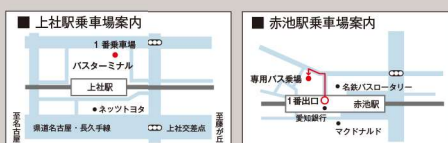
ロシア・ポーランド文学研究者。東洋大学助教。東京大学大学院博士課程修了。博士(文学)。ロシアの作家レーミゾフ研究のほか、亡命文学をキーワードに20世紀ロシア語、ポーランド語文学を研究する。2019年10月に発表された2018年ノーベル文学賞の受賞作家オルガ・トカルチュクの翻訳者としても知られる。訳書に『昼の家、夜の家』、『逃亡派』(以上白水社)。トカルチュクの初期の代表作のひとつ『ブラヴィエクとそのほかの時代』が近く刊行予定。



### ■本学へのアクセスについて■

当日、駐車場はありませんので公共交通機関または上社駅、赤池駅からの専用バス(無料)をご利用ください。

専用バスにご乗車の際は、イベントに参加する旨を運転手にお伝えください。



問合せ先

名古屋外国語大学  
外国語学部 世界教養学科事務室

TEL 0561-75-1759



本イベントにおける写真撮影や録音はご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。会場では腕章を付けたカメラマンが記録用の写真撮影を行っています。本学ウェブサイトやその他の刊行物に、写真が掲載されることがありますのでご了承ください。